

### 3 火災の総括

#### ① 発生状況及び出火率

令和4年中(令和4年1月1日～令和4年12月31日)における火災件数は28件で、前年から15件減少している。前年比の内訳は、車両火災が8件減少し、その他火災が1件増加、林野火災は横ばいであった。

出火件数を火災種別で見ると、建物火災が16件(57.1%)と最も多く、次いで車両火災が5件(17.8%)、その他火災(建物、車両、林野火災に該当しないもの)が7件(25%)、林野火災が0件となっている。

出火件数を月別に見ると、10月が最も多く5件、次いで4月・7月が4件、1月・2月・3月・6月・8月・11月が2件、5月・9月・12月が1件となっている。

建物火災の用途別では、専用住宅が6件(37.5%)、共同住宅が2件(12.5%)、併用住宅が1件(6.3%)、店舗が2件(12.5%)、工場・作業場が3件(18.8%)、倉庫が0件、事務所が1件(6.3%)、その他が1件(6.3%)となっている。

出火率(人口1万人当たりの出火件数)は1.4件で、前年から0.7件減少している。この数値は、前年(令和3年中)の全国平均出火率2.8件より1.4件少ない数値である。

#### ② 死傷者

火災による死者は2人(前年1人)で、負傷者は1人(前年7人)である。

#### ③ 焼損状況及び損害額

焼損棟数は21棟で、前年の49棟より28棟減少し、火元建物の焼損床面積は464.0㎡で、前年の661.0㎡より197.0㎡減少している。

火災による損害額は44,205千円で、前年の101,105千円より、56,900千円減少している。

#### ④ 出火原因

出火原因で最も多かったのが、火入れ3件(前年0件)。次いで、たばこ、こんろ、電灯・電話等の配線、溶断機・切断機、放火がそれぞれ2件の順となっている。

#### ◆令和4年火災総括表

総火災件数		28 件
火災種別	建物	16 件
	林野	0 件
	車両	5 件
	その他	7 件
焼損棟数		21 棟
罹災世帯		13 世帯
罹災人員		32 人
建物焼損床面積(火元)		464.0 m <sup>2</sup>
" (類焼)		0.0 m <sup>2</sup>
建物焼損表面積(火元)		4.0 m <sup>2</sup>
" (類焼)		39.0 m <sup>2</sup>
林野焼損面積		0.0 アール
死者		2 人
負傷者		1 人
総損害額		44,205 千円
内訳	建物	43,157 千円
	林野	0 千円
	車両	882 千円
	その他	166 千円

#### ◆各種別平均

件数	
1か月当り	2.3 件
1日当り	0.08 件
損害額	
1件当り	1,578.8 千円
1か月当り	3,683.8 千円
1日当り	121.1 千円
1時間当り	5.0 千円
1分当り	0.1 千円
焼損床面積(建物火災・火元)	
1件当り	29.0 m <sup>2</sup>
1か月当り	38.7 m <sup>2</sup>
1日当り	1.3 m <sup>2</sup>

出火率 (人口1万人当り)

1.4 件
-------

#### ◆出火原因順位

順位	出火原因	件数
1位	火入れ	3件
2位	たばこ	2件
	こんろ	
	電灯・電話等の配線	
	溶断機・切断機	
	放火	

※出火原因順位にその他及び不明は含まれない。